

大谷石

NPO法人 大谷石研究会



大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

宇都宮市の「まちなみ景観大賞」に 「上田町集落」と「芦沼町集落」が 同時受賞！

上田町の皆さん、芦沼町の皆さん「受賞」大変おめでとうございます。

宇都宮市の「第17回市まちなみ景観賞」に、私たち大谷石研究会と宇都宮大学安森研究室が協働で調査を行った、旧上河内町の「上田町集落」（2014年調査）と芦沼町集落（2015年調査）が同時に「大賞」を受賞されました。

当研究会では、2012年調査の徳次郎町西根集落を皮切りに、2013年に上田原町集落の調査を、そしてその後受賞された2つの集落の調査を4年続けて行ってきました。

上田町は、40数件の集落ですが各戸平均2棟以上の石蔵があり、何と云っても特徴的なのは、道路の両側に水路

を配し玉石積み擁壁の上に大谷石塀が数メートルにも及び見事な景観を呈しています。豪農が多く、後継者にも恵まれ、コミュニティ意識が高い事も今回の受賞の大きな理由であったと思います。

又、芦沼町はわずか18軒程度の集落ですが、狭い道路の両脇に特に8軒が集積し、石蔵、石塀が一体化され、防火

壁の役目も担った独特の街並みを呈しています。河岸段丘の内側に集落を作り、北西からの寒風を凌ぐ恰好の場所、しかも肥沃な土壌という、先人達の知恵が偲ばれます。近隣にありながら、上田町とは全く違った景観というのも新鮮であり、受賞の理由と思われ

ます。
実のところ、2つの集落共に調査を行った私たち大谷石研究会が、地元自治会に内緒で景観賞に応募してしまっただ経緯があり、お叱りを受けてもおかしくない処、どちらの自治会長さんにも大変喜んで頂きホッと致しました。

今回、調査してきたものは市街地周辺の街道沿いに集積した石蔵が特に多い集落です。

街道筋に雄大な屋敷林を背に母屋、石蔵、納屋、石塀が連なる景観は、我が栃木県民、我が宇都宮市民の「プライド」であり、「ブランド」であろうと思います。

私たちは、この景観を集落の人たちと行政の人たちと共に後世にどのよ

うに守り、伝えていくべきか考えていきたいと思っております。

何はともあれ、上田町、芦沼町の同時受賞は大変喜ばしい事であり、やっと宇都宮市や市民が石蔵等大谷石の文化を振り返ってくれ始めたのかなという事と、大谷石研究会が発足して10数年になります、その間、「写真集「大谷石百選」を刊行するなど、大谷石産業の振興や大谷石文化の普及活動等情報発信してきた事がここにきてようやく花開いてきたようです。

NPO法人 大谷石研究会
副理事長 塩田 潔



道路の両側に水路・玉石垣・石塀が連なる(上田町)



水路の所々に堰がある(上田町)



各戸にサルビアのプランターが飾られている(上田町)



道路の両側に石蔵・石塀が一体となり連なる(芦沼町)



道路の両側に石蔵・石塀が一体となり連なる(芦沼町)



庭園が見事なS邸(芦沼町)